

第 2 回 蕨 市 ア ウ ト メ デ ィ ア 推 進 大 会
中 央 東 小 学 校 養 護 教 諭 塩 田 歩 美

蕨 市 で は 、 電 子 メ デ ィ ア へ の 接 触 時 間 を 減 ら
し 、 未 来 を 担 う 子 ど も た ち の 健 や か な 成 長 を
願 い 、 平 成 2 3 年 7 月 1 6 日 に 「 蕨 市 ア ウ ト メ
デ ィ ア 宣 言 」 を 制 定 し ま し た 。 今 年 度 は 、 平 成
2 4 年 1 1 月 1 7 日 (土) に 、 第 2 回 蕨 市 ア ウ
ト メ デ ィ ア 推 進 大 会 が 蕨 市 民 会 館 で 開 催 さ れ ま
し た 。

蕨 市 ア ウ ト メ デ ィ ア 活 動 実 践 報 告

・ 塚 越 小 学 校 か ら
学 校 保 健 委 員 会 で の 啓 発 、 ア ウ ト メ デ ィ ア だ
よ り の 発 行 な ど 行 っ て い る 。 毎 月 第 3 日 曜 日 は
「 ア ウ ト メ デ ィ ア の 日 」 と し て 、 チ ャ レ ン ジ カ
ー ド を 使 い 、 子 ど も が 自 分 で 目 標 設 定 を し て 、
取 り 組 ん で い る 。 発 表 の 最 後 に 塚 越 小 学 校 の 保
護 者 の 方 か ら 実 際 に 感 想 の 発 表 が あ っ た 。

・ 蕨 市 男 女 平 等 市 民 会 議 か ら
乳 幼 児 を 抱 え る 親 に 向 け た 取 り 組 み 、 乳 幼 児
期 か ら の メ デ ィ ア 漬 け の 接 触 に よ る 問 題 、 成 長
過 程 の か ら だ へ の 影 響 を 説 明 し た 。 こ れ か ら は 、
自 ら コ ン ト ロ ー ル す る 力 と し て 、 メ デ ィ ア リ テ
ラ シ ー 教 育 が 必 要 に な る 。

講 演 「 ア ウ ト メ デ ィ ア チ ェ レ ン ジ で 子 ど も
が 変 わ る ! 一 茨 城 県 美 浦 村 ・ 東 海 村 で
の 実 践 か ら 一 」

講 師 茨 城 県 美 浦 村 教 育 長 (筑 波 大 学 名 誉 教
授) 門 脇 厚 司 氏

1 . 東 海 村 ・ 美 浦 村 で ア ウ ト メ デ ィ ア 運 動 を 始
め た 契 機

東 海 村 で は 2 0 0 4 年 度 か ら 「 ノ ー ゲ ー ム 運
動 」 と し て 、 美 浦 村 で は 2 0 1 1 年 度 か ら 「 ノ
ー テ レ ビ ・ ノ ー ゲ ー ム 運 動 」 と し て 開 始 し た 。
ノ ー テ レ ビ ・ ノ ー ゲ ー ム 運 動 を 通 し て 社 会 力 を
育 て た い 。 「 ノ ー テ レ ビ ・ ノ ー ゲ ー ム 運 動 」 を 通
し て 、 子 ど も 達 に 読 書 を す る 時 間 を 増 や し て ほ
し い と 、 美 浦 村 の 全 小 中 学 校 で 「 選 書 会 」 を 行
っ た 。 た く さ ん の 本 を 体 育 館 に 並 べ て 、 子 ど も
達 が 読 み た い 本 を 選 び 、 そ れ を 図 書 室 へ 入 れ た 。
ま た 、 な ぜ 「 ノ ー 」 と い う 言 葉 を 使 っ た の か 、
そ れ は 分 か り や す く 、 し ょ う (消 ・ 少 ・ 省) テ

レビ・ゲームという意味があるからである。

2. 東海村および美浦村でのアウトメディア運動の実際

パンフレットを作成・配布した。その中に、「ノーテレビ・ノーゲーム運動」の標語を掲載し、村内の様々な場所にも掲示するようにした。掲載した標語は、「早寝早起き朝ご飯 テレビを見ないでお手伝い」「テレビとゲーム遠ざけつくるわが家の和と輪」「テレビ消し地域で育てる社会力」の3つである。夏休みや冬休みなどは、チャレンジシートを実施したり、体験作文発表会を行ったりした。

3. アウトメディア運動の成果・効果

子どもたちの体験作文から、ノーテレビ・ノーゲームをして良かったことは①勉強する時間が増えた②家族での会話が③外で遊ぶ時間が増えた④読書が増えた⑤家の手伝いをする時間が増えた⑥家族と出かける時間が増えた⑦友だちと遊ぶ時間が増えた⑧祖父母に会える時間が増えたことなどを紹介した。そして、東海村や美浦村の実践から、社会力が高い子どもは、大人と関わりをもっている・他人のことを理解している・好奇心がある・村のために貢献したいという気持ちが高いなどの傾向がある。

4. 効果のあるアウトメディアを進める上でのポイント

テレビ・ゲームなどが及ぼす様々な弊害を強調するよりも、実際にノーテレビ・ノーゲームを行った結果、子どもが変わっていく様子を保護者自身の目で見てもらうことが、最も効果的である。

アウトメディアそのものを目的とするのではなく、どのような子どもを育てたいのかをはっきり示していく必要がある。